

6・30AWC 首都圏集会アピール

本日の集会では、韓国の闘う人士の方から韓国の反原発運動の現状や闘いの報告を受けました。現在韓国では、オプティカルハイテック闘争をはじめ、労働者の命を懸けた激しい闘いが続いています。私たちは韓国はじめ闘うアジアの労働者との具体的・実践的な連帯活動をさらに推し進めていきましょう。

岸田政権は各地の原発再稼働をはじめ原発推進政策を強力に進めています。福島第一原発の汚染水放出を許さず、すべての原発を廃炉するまで闘い続けましょう。また、ロシアによるウクライナ戦争やイスラエルによるパレスチナ人民虐殺は現在も続いています。戦争こそが最大の差別であることを何度でも確認し、即時停戦を強く求め、全世界で闘う労働者とともに反戦闘争を進めていきましょう。

福岡高裁那覇支部は5月15日、辺野古新基地建設を巡る訴訟で、地元住民4名の原告適格を認める判決を行いました。新基地建設を巡る訴訟はこれまで、ことごとく門前払いされてきた中で、沖縄の人々の粘り強い闘いの成果による画期的な判決だといえます。しかし、岸田政権は辺野古新基地建設に向けた軟弱地盤の工事を強引に続けています。また、日米安保の強化のために朝鮮半島や台湾の「有事」をありながら、それを口実に中国への軍事的包囲網形成を推し進め、琉球弧・九州等の軍事基地機能強化を進めています。これらの大軍拡、戦争国家体制づくりを絶対に許してはなりません。岸田政権による日米安保・軍事基地の強化を許さず、アジアの人々とともに米軍基地を総撤収するまで闘い続けましょう。

岸田政権は、国会で重要経済安保情報保護法、地方自治法改悪等悪法の成立を矢継ぎ早に続けています。6月14日には改悪入管法の成立を強行させました。また任期中の憲法改悪を目論んでいます。「戦争のできる国家づくり」、差別排外主義の激化を絶対に許さず、岸田政権打倒の闘いをさらに進めていきましょう。

2024年6月30日

AWC 首都圏集会参加者一同